



平野学長「画期的な技術で社会貢献を進める」
 平野学長は「好適環境水の技術は、長年の試行錯誤の中でたどり着いた、画期的な技術で、海水温の上昇や異常気象、自然災害の影響を受けることなく、魚や野菜を安定供給できるようになります。SDGsの観点からも夢のような技術だと思っています。今後とも、3者で共同して連携を深め、消費者の皆さんに少しでも喜んでいただけるような成果をお届けできればと思っています」と研究機関としての社会貢献を強調しました。

成長したベニザケ、刺身、寿司を手にする(左から)福島市長、伊藤社長、平野学長、岡山市の「いちい」本社で7月20日

岡山理科大

成長早く「安心・安全」試験販売スタート
 好適環境水による養殖事業化実験が行われているベニザケが出荷の時期を迎え、7月20日、養殖場のある福島市の株式会社「いちい」本社で、プロジェクトの進捗状況に関する記者会見が行われました。共同研究に取り組んでいる「いちい」、岡山理科大学、N T T東日本の代表が出席し、共同研究の成果を報告。翌21日から福島市内の「いちい」店舗で試験販売することを発表しました。ビジネスベースで世界初となるベニザケの養殖事業化に向けて、大きな一歩を踏み出しました。
 会見に臨んだのは「いちい」の伊藤信弘代表取締役社長、岡山理科大学の平野博之学長、N T T東日本の澁谷直樹・代表取締役社長。地元や在京の報道各社約20社が参加し、関心の高さを示しました。

世界初、ベニザケの養殖事業化に大きく前進

建学の理念
 ひとりひとりの
 とよみがたげん能つと
 業に限りなきし
 技術者として
 社会人として
 社会に貢献できる
 人材と美を成す

加計学園グループ

- 学校法人 加計学園
- 学校法人 英数学館
- 学校法人 広島加計学園
- 学校法人 吉備高原学園

「脂が滑らかでおいしい」と好評

会見後には試食会が行われ、報道関係者からは「脂が滑らかで食べやすい、おいしい」「さっぱりとして、しっかり歯応えがある」「サケのイメージが変わった」などの声が聞かれました。

わずか1年半で70グラム→1200グラム

ベニザケは消費者の人気が高いものの、病気に弱く成長が遅いため、これまで事業規模の陸上養殖に成功した例はありません。岡山理科大学が保有する好適環



会場には約20のテレビ・新聞・通信各社が駆け付け、注目の高さを示しました

境水の養殖ノウハウ・プラントシステムに、N T T東日本グループが持つICT(情報通信技術)を組み合わせて作業の効率化、自動化、陸上養殖に最適な設備構築を進めてきました。養殖場には22トン水槽1基があり、2022年1月初めの養殖スタート時には約70グラムだった体重は、わずか1年半で平均800〜900グラム、最大で1200グラム以上にまで育ちました。通常のベニザケがこのサイズまで育つには数年かかると思われています。「いちい」は福島市の隣の

川俣町と基本協定を締結しており、同町の廃校を利活用して養殖規模を拡大していく予定です。

「寿司のおかやま理大なぎ」1万2000食完売!

大型連休に合わせ、回転ずしチェーンのくらす司(本部・大阪府堺市)が、5月2日から全国536店舗で限定1万2000食を販売した「おかやま理大なぎ」は5月7日までに完売し、大好評だったそうです。くらす司の広報担当者は「岡山だけでなく、広島、徳島でも早々に売り切れました。くらす司で一番高い1貫500円という設定で、ちょっと心配はしましたが、お客様の感想は『皮が柔らかく、舌鼓かくておいしい』『とても食べやすい』と大好評でした。従来のウナギのすしと食べ比べをされた方もいらっしやうたようです」と話しています。「おかやま理大なぎ」は、理大工学部応用化学科の山本俊政教授が開発した好適環境水で養殖。安心・安全な完全閉鎖循環式の水槽で、魚病薬などを使用していない環境にやさしい飼育方式です。天然物と比較して脂の含有量が多く、臭みが少ないのが特徴です。



2024年4月より倉敷芸術科学大学芸術学部は、これまでのデザイン芸術・メディア映像のジャンルに加え先端デジタル技術で創造する先端メディアコースを創設し、芸術学部芸術学科として新しく生まれ変わります。

芸術を取り巻く社会環境の変化や、芸術そのものの変化を踏まえ、純粋芸術や応用芸術、メディア芸術までを広く学び、芸術に新たな需要や高い付加価値を生み出せる独創力、及び伝統技法とデジタル技術を活用した芸術的な表現力を身につけて、広く社会に寄与できる創造力豊かな人材を育成します。

2024年度から新芸術学部・芸術学科

- アートコース
- メディアデザインコース
- 先端メディアコース

芸術学部デザイン芸術学科とメディア映像学科は、芸術学部芸術学科に改組

体育のスクーリングを改革

並木福山高

並木学院福山高等学校は、通信制課程・普通科の高等学校です。生徒は毎日通う必要はなく、自分のペースで登校し、学習しています。通信制課程の高校に進学する生徒

野外活動やグラウンドゴルフ、ボウリングなど

今年度行った新たな教育活動の一つに体育のスクーリングが挙げられます。生徒が増加したことで、本校の施設だけでは体育のスクーリングでの実技が難しく、また、保健体育科の教員から「生徒にいろんな競技を体験させたい」という強い要望もあり、体育のスクーリングの改革をしました。日程は5月末と6月末に集中させ、「野外活動」「グラウンドゴルフ」「ボウリング」「アイススケート」「バドミントン」「卓球」「バレーボール」など多くの競技を用意し、生徒に実技を選択させるという形をとりました。

「野外活動」は福山少年自然の家で行いました。本校開校以来、初めての活動で

す。本校生徒は不登校経験者が多く、対人関係に苦手意識を持つている生徒も多くいますが、班に分かれての飯盒炊飯や、クラフトワークの活動を通して、初対面の人との活動でも笑顔が見られ、周りを見ながら自分のできることを探して行動できるようになっています。

また、福山市内の体育館を1日借り、「バドミントン」「卓球」「バレーボール」を楽しみました。広い体育館でのびのびと動くことができ、生徒たちは「楽しかった」「体を久しぶりに動かせた」と喜んでいました。

「アイススケート」は関連校の倉敷芸術科大学の施設を借りて行いました。初めてアイススケートをする生徒も多く、滑ったり転んだりを繰り返していました。果敢にチャレンジする姿がありました。次の日は筋肉痛で動けない生徒もいましたが、良い体験ができました。



飯盒炊飯を楽しむ生徒たち

たと言っていました。生徒一人一人が自分のできることを一つずつ増やし、自信

4年ぶりに米研修団来日 多彩な交流行事に参加

教育・交流協定を結んでいる米国の州立ライト大学とフインドリー大学の学生と職員22人が6月26日に来日しました。コロナ禍で2021〜2022年の交流行事が中止となつたため、来日は4年ぶりです。7月10日までの滞在中、岡山理科大学、倉敷芸術科大学、千葉科学大学などで授業に参加して学生たちと交流したほか、岡山後楽園、広島平和公

につけていけるような教育活動に取り組んでいます。

研修を終えた学生たち一人ひとりに加計役副理事長から修了証が手渡されました

園などを見学、夏祭りや武道体験などを通して、

日本文化に触れました。

一行は、ライト大学職員のメガン・トリックラーさんをはじめ、フインドリー大学の学生、デジレー・スミスさんら。理大の生物生産教育研究センターで好適環境水によるベニザケやウナギの陸上養殖を見学したり、A1号館階に設けた「夏まつり」会場で、風船のヨーヨー釣りに挑戦したりするなど、日本の夏の風情も楽しみました。



ながら頑張ってきたよかった」「いつもそばで支えてくれて感謝しています」とクラスメイトや家族・先生へ感謝の気持ちを語っていました。

式の後には、ハット・トスで喜びを表現しました。修了生は、IBプログラムで身に付けた論文力やプレゼン力を生かして大学入試

国際バカロレアコース1期生12人が修了

理大附高

岡山理科大学附属高等学校・国際バカロレアコース1期生12人のIBDP(国際バカロレア)ディプロマ・プログラム)修了証授与式が3月1日、学園創立50周年記念館4階ホールで行われ、保護者・教職員に見守られながら、ガウンとストールを身にまとった12人の修了生が田原誠校長から修了証を受け取りました。

「コロナ禍で入学式は中止、入学後すぐにオンライン

授業と、高校生活の始まりは不安だらけだった」「たくさんの課題で大変だった」と涙して語る修了生や、「このメンバーで励まし

千葉科学大学附属高等学校では、コロナ禍の影響で前期の集中スクーリングは実施できず、初の集中スクーリングには、ビザなどの関係で来日できなかったパキスタンを除く5人の生徒が参加し、授業や日本人生徒との交流など充実した1



修了証授与式の後、ハットスで喜びを表現する生徒たち

千葉科大附高

初の海外集中スクーリング実施

開講式では、太田臣一校長が「日本文化や習慣、日本人の特性等もしっかりと知ってほしい」とあいさつ。生徒を代表して森優愛さん(2年)が「こうして面と向かって皆さんといろいろお話ができる日を心待ちにして

2日目は、授業の一環で「犬岩」や「地球のまるく見える丘展望館」を見学後、千葉科学大学のマリイナキャンパスで看護学部の実習施設や危機管理学部の好適環境水の施設などを見学し、格納庫では大学教員から飛行機の説明を受けました。



スクーリングの開講式に出席した生徒たち

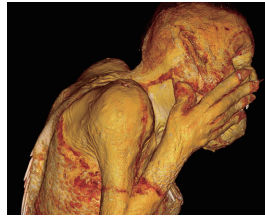
人魚ミイラの実態解明 圓珠院所蔵『人魚のミイラ』研究最終報告

倉敷芸術科学大学が協力して2022年2月2日から調査が続いていた圓珠院に眠る「人魚のミイラ」。このミイラを科学的に分析するプロジェクトの最終結果報告が2023年2月7日に行われました。

倉敷芸科大

長崎県の西海市崎戸歴史民俗資料館で2023年3月4日〜4月30日、続いて長崎市恐竜博物館で5月3日〜6月30日、西海市で発見された約3,300万年前のカイギユウ(海棲哺乳類)の化石が展示されました。この年代の化石は太平洋へ進出したカイギユウとして日本最古のものであり、それだけでも歴史的に重要な意味を持つものですが、この化石にはもう一つの、時を超えたストーリーが。1980年、当時中学生だった倉敷芸術科学大学健康科学科の加藤敬史教授は、

科学調査ではX線撮影、X線CT撮影による観察などの結果、「圓珠院所蔵の『人魚干物』は、魚体部は、ニベ科の魚類の皮で覆われ、上半身は、布、紙、綿などの詰め物と漆喰様の物質を土台として、積層した紙とフグの皮でできており、1800年台後半ごろのもの」と推測される」と結論づけられました。



「人魚のミイラ」のCT画像



圓珠院所蔵の「人魚のミイラ」

また、ミイラと一緒に残されていた書付には、人魚が江戸期の元文元年(1736年)〜元文5年(1740年)に、高知(土州)沖で漁網にかかったものが漁師によって、大阪に運ばれ、販売されていたものを、備后(備後)福山の小島直叙氏の先祖が買い求め、以後、小島家の家宝とした。明治36年(1906年)11月に小島氏

夏のカンパにきていた西海市崎戸の海岸で、ある化石を発見。それは大きな石の表面に白い骨がたくさんついた状態の化石で、崎戸歴史民俗資料館に運ばれ展示されました。しかし、資料館に化石の専門家がいなかったため化石のクリーニングは行われず、長らく正体不明のままでした。



夏のカンパにきていた西海市崎戸の海岸で、ある化石を発見。それは大きな石の表面に白い骨がたくさんついた状態の化石で、崎戸歴史民俗資料館に運ばれ展示されました。しかし、資料館に化石の専門家がいなかったため化石のクリーニングは行われず、長らく正体不明のままでした。

少年時代に発見した化石、時を超え40年後に自ら研究

健康科学科 加藤教授

それから約40年後、加藤少年は化石哺乳類の専門家となつて芸科大で教鞭を執っていました。

一方、西海市は事業としてこの化石を調べることになり、西海市教育委員会が日本の哺乳類化石に詳しい福井県立恐竜博物館に連絡。そして、あの化石ならこの付近の化石に



加藤教授が発見したカイギユウの化石

から小森豊治郎氏に売り渡した——との記述がありました。得られなかった」とされました。調査に携わった健康科学科、加藤敬史教授の談話を紹介します。「幼い頃、少年雑誌に掲載されている妖怪や伝説の生き物の話をわくわくしながら読んでいました。それから何十年もたつて、自分からそのようなものにおれ、直接研究する機会に恵まれるとは考えていませんでした。タイムマシンがあったら、おまえは大人になって人魚のミイラを調べることができると言えどと昔の自分

に教えてあげたいです。このプロジェクトで多くの情報が得られました。また、すべてのことが明らかになっているわけではありません。今回の報告で一応の区切りとしますが、今後もこの圓珠院の人魚のミイラについては研究が継続される予定です」

輝かしい戦績

ゴルフ部

中国大会団体・女子4連覇

第40回中国高等学校ゴルフ選手権大会団体・女子の部が7月13〜14日、広島県賀茂カントリークラブで行われ、4連覇を達成しました。

初日1打差の2位スタートで始まり、最終日4人中3人の合計スコア1同点による順位決定同数により4人の合計ストロークでの優勝決定となりました。最終ホールの最後の1人までもつれる大接戦でした。

チーム登録は佐川佳帆、中村有希(以上3年)、青山ゆずゆ、祇園美衣菜(以上2年)、秦悠葉(1年)の各選手。

ソフトテニス部

中国大会で優勝

第66回中国高等学校ソフトテニス選手権大会が7月8日、岡山市の浦安総合公

理大附高

園テニスコートで行われ、個人戦で足利颯太選手(3年)・島谷楽空選手(3年)のペアが優勝、青木晴弥選手(1年)・本間優作選手(1年)のペアが準優勝しました。団体戦は、雨天のため中止でした。

ボウリング部

全国選抜大会で2位

高体連加盟校全国選抜大会兼第37回東海北信越高等学校選手権大会が7月28〜29日、石川県小松市で行われ、錦織秀選手(3年)が男子個人総合で2位となりました。

相撲部

中国大会で団体準優勝

今年度の中国高等学校選手権大会が6月11日、隠岐水産高校で行われ、団体戦では、2-3と惜しくも鳥取城北高校に敗れて準優勝でした。

産学連携事業「シン・ブカツプロジェクト」始動

英数学館中・高

英数学館中・高等学校は、福山シティフットボールクラブ(福山シティFC)とともに、次世代型部活動の共創プロジェクト(産学連携事業)の一環として、2011年から活動を休止していた高校サッカー部を2024年度に再始動します。現在、部員確保に向けて広報活動を強化し、中学校訪問や公開練習に取り組んでいます。

プロジェクトでは、英数



福山シティFCの指導を受けるサッカー部の選手たち

学館高等学校が福山シティFCに対し「運営・発掘・育成・強化」の機能をアウトソースします。これにより学校部活動を地域移行し

「持続性を担保した新たなモデル」として社会課題の解決と、教員の働き方改革をめざします。

福山シティFCがもつ「運営・発掘・育成・強化」における強み、そして本校の強みである国際的人材育成に向けた教育カリキュラムを融合させ、サッカー選手として海外を視野に入れたキャリア育成、また国内外でサッカーに関する職業を目指すような人材育成も同時に図っていく予定です。

ねりんピック愛媛大会のメダル

芸術学部1年、榎垣さんのデザイン採用

倉敷芸科大

今年10月に愛媛県内で初開催される60歳以上のスポーツ・文化の祭典「ねりんピック愛媛(えがお)のえひめ2023」のメダルのデザインに、倉敷芸術科学

大学芸術学部デザイン芸術学科1年、榎垣衣さん(愛媛県立今治工業高等学校出身)のデザインが採用されました。



榎垣さんがデザインしたメダル

に、県花であるミカンの花を周囲に描くことで、愛媛

メダルのモチーフは、鳥の心臓を模したデザインとなっており、県花であるミカンの花を周囲に描くことで、愛媛

「ロボカップ2023世界大会」

秋山講師が2年連続6回目の世界一

岡山理科大

実機やシミュレーションでロボットのプログラミング技術を競う「ロボカップ2023世界大会」(7月6日〜9日・フランス)のサッカー部門(シミュレーション)で、岡山理科大学情報理工学部情報理工

県らしさや躍動感、華やかさを表現しました。榎垣さんは「ねりんピックという全国的な大会で、参加される多くの選手

の方々に、私のデザインしたメダルが渡されることをうれしく思います」と喜びを表現しています。

浅沼さんがクラスファースト受賞

岡山理専

オールブリードドッグショー開催

岡山理科大学専門学校の岡山ケネルワッククラブが主催する全犬種対象の「オールブリードドッグショー」が4月30日、岡山・牛窓で開催されました。優良純粋血統犬種60犬種222頭が参加し、各犬種で年齢別性別でのクラス審査があり、ベストオ



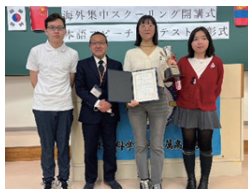
ブブリード、ベストイングループが決定。九州から関東までの愛犬家有名ドッグ

千葉科大附高

第3回黒潮杯

「日本語スピーチコンテスト」リュさんが3連覇

千葉科学大学附属高等学校では、国際理解を深め、グローバル社会に貢献できる人材の育成をめざす中で、日本語を母語としない生徒の日本語能力の向上に資することを目的として、日本語スピーチコンテストを開



この部門には日本、イラン、カナダ、ドイツ、ブラジルなどから14チームが参加。秋山講師は4年ぶりに現地で出場しました。チーム名は「HELIOS 2023」です。

科の秋山英久講師が2年連続6回目の優勝を果たしました。サッカーシミュレーション競技では、コンピュータ内での仮想フィールドでサッカー競技を行います。競技への参加チームは選手を制御するプログラムを開発。一見するとテレビゲームのサッカーのように見えますが、各選手を制御するプログラムがすべて独立して動作する点がテレビゲームとは大きく異なります。さまざまな人工知能技術が応用されており、現実の人間サッカーのような複雑な試合展開が見どころです。

この部門には日本、イラン、カナダ、ドイツ、ブラジルなどから14チームが参加。秋山講師は4年ぶりに現地で出場しました。チーム名は「HELIOS 2023」です。秋山講師は世界大会で2010年に初優勝後、2度の連覇を含み6回目の優勝。今大会の勝因について「完成度を高めるために、何十万試合もシミュレーションを繰り返して、プログラムの最適化を行ったのが奏功しました」と話しています。

グハンドラーの参加で犬種の理想像を競い合い、東京から参加したロシア原産のボルゾイが優勝。岡山理科大学専門学校からもトリミング研究生、浅沼亜美さんが、シエッタランドシープドッグでクラスファーストを受賞しました。

理大と室町酒造のコラボで限定販売 サクラ酵母の日本酒プロジェクト

岡山理科大学工学部応用化学科の滝澤昇教授と岡山県赤磐市の老舗酒造メーカー「室町酒造」が、サクラの花から採取した酵母を使って、日本酒を醸造。甘いながらも酸味が強くフルーティーな味わいの清酒が出来上がり、「桜華」(おうか)と名付けました。岡山市内のデパートなどで限定販売されています。

岡山理科大

滝澤教授は発酵工学が専門。主に植物から乳酸菌や酵母を採取し、発酵食品の開発に取り組んでいますが、今までにサクラだけでなく、マスカットやコスモス、ツバキなどから酵母を採取し、お酒やパン作りなどへの利用について2015年ごろから研究。酒造にはサクラから採取された酵母が適していることが分かり、アルコール生成能やアルコール耐性などから実際に使えそうな2種類の酵母に絞り込んで、今年1月、旧知の室町酒造社長の花房満さんに「この酵母で



サクラ酵母で造った日本酒を手にする滝澤教授(左)と花房社長(右)



限定販売された「桜華」

日本酒を造ってほしい」と打診しました。

甘酸っぱいフルーティーな味わいに雄町米の旨味

若者の日本酒離れに頭を

悩ませていた花房社長は、自社を代表する銘柄「櫻室町」と同じ桜であり、この酵母で「若い人が飲みやすいカジュアルな新しい日本酒が出来れば」との思いから快諾し、2種類の酵母の提供を受けて酒造りに着手。このほど出来上がった白金色のお酒を飲み比べ、アルコール度数8%と低アルコールで、甘酸っぱいフルーティーな味わいと雄町米由来の旨味が相まったものに仕上がった方を限定販売することにしました。

ていく決意を新たにしました。

宣誓式には4年ぶりに保

校舎の大規模改修が完了

並木学院高

eスポーツ部専用の教室も新設

1968年に新築され、築55年となる並木学院高等学校(通信制課程)の校舎が生まれ変わりました。昨年の7月から始まった校舎の大



55年ぶりに生まれ変わった校舎

規模改修が3月末をもって完了し、外装と内装が刷新されました。生徒の増加に対応するため、家庭科室から普通教室への改装と、校舎全体の防水機能の向上、壁面への明るい色の塗装、そして床の張り替えが行われ、学習環境の向上が図られています。

外観はこれまで白一色だったものが、メタリックの外壁が一部施され、近代的なビルを彷彿とさせます。教室や廊下の床はこれまで暗い色だったものから暖色の柔らかなオレンジ色や

玉野医専

2年生39人が宣誓式

玉野総合医療専門学校では5月13日、保健看護学科の宣誓式「道」が行われました。看護師や保健師をめざす2年生39人が、本格的な病院実習で専門職をめざし



真剣な表情で宣誓式に臨む保健看護学科の学生たち

元玉野市や岡山市、倉敷市などの病院で行われます。宣誓式には4年ぶりに保護者も出席しました。学生たちはナイチンゲールが傷病兵を見回る時に使った手燭をあしらった記事を教員に付けてもらいました。続いて、ナイチンゲール誓詞を唱和し、「自分が行う看護に責任と誇りを持ちます」と誓いました。

実習は12月に3週間、地域の玉野市や岡山市、倉敷市などの病院で行われます。

「日本酒を飲んだことのない方々にも受け入れやすいはず」と花房社長

「新商品は従来の清酒と同様、酒造りに適した赤磐産の雄町米を使い、環境省の全国名水百選に選定されている地元の「雄町の冷泉」を仕込水として仕込んだ自信作です。花房社長は「日本酒を今まで飲んだことのない方々でも受け入れやすいはず。限定販売の状況を見てからですが、来年度から本格販売し、海外展開も

考えた。少しでも多くの方々に喜んで笑顔になってもらえたら」と熱い思いを語ります。

「期待以上にいいものが出来た」と滝澤教授

一方、滝澤教授は「7年越しの夢がかなった。ドイツワインのような甘酸っぱさ」と旨味が特徴で、期待以上にいいものが出来た。これで日本酒の新たな楽しみ方が広がればうれしい」とサクラ酵母のお酒に期待しています。

岡山県サッカー協会と連携・協力に関する協定締結

スポーツマネジメント人材の育成めざす

スポーツマネジメント人材の育成などをめざし、岡山理科大学は5月30日、岡山県サッカー協会と連携・協力に関する包括協定を締結しました。

調印式は岡山キャンパスの学園創立50周年記念館であり、岡山県サッカー協会の山下立次会長、岡山理科大学の平野博之学長らが出席。山下会長は「この協定を基に、新しいことにチャレンジできるのでワクワクしています」と述べ、平野学長は「地域から選ばれる大学をめざしています。その中でスポーツを通して地域振興につながればと期待して

調印式で握手をかわす、平野学長(左)と山下会長(右)

恐竜学博物館の来館者5万人突破!

岡山理科大

岡山理科大学恐竜学博物館の一般来館者が4月22日、5万人を突破しました。5万人目は広島県福山市のぎんがの郷小学校4年、末富匠君で、石垣忍館長から記念品が贈られました。

末富君はこの日、両親、妹と一緒にやって来ました。恐竜について「本当の様子がまだ分かっていないのが面白い」と末富君。自宅には恐竜関係の本がたくさんあるそうです。今日は2回目の来館で、「化石のクリーニ



入館5万人目で、石垣館長からプレゼントが贈られた末富君(中央)

ングを見るのを楽しみにしていた」そうです。記念品贈呈式では、石垣館長が、自著の「恐竜と歩こう! 足跡化石の発掘と研究」などの書籍や恐竜の「うれしい。将来は恐竜の研究者になりたい」と目を輝かせていました。

恐竜学博物館は2018年3月24日に開館。C2号館1階のメイン展示のほか、学内5カ所のサテライト展示で構成。ゴビハドロス、ゴビヴェナトル、ノミンジアの全身骨格など日本ではここだけでしか見られない恐竜標本が多く展示されています。今年からは、恐

保定のできる猫型採血シミュレーター発売

倉敷芸科大

倉敷芸術科学大学とダイヤ工業株式会社(岡山市)のグループ企業である動物用サポーターメーカーの「株式会社 anitall」が共同開発した保定のできる猫型採血シミュレーター「ねこにゃん」



発売された猫型採血シミュレーター

が6月から販売されています。保定をしながら、採血、点滴静脈注射、留置針の挿入、血管の触知、静脈内注射など、実践的なトレーニングが可能な猫型採血シミュレーターです。

血管チューブは、リアルな穿刺感を実現。針穴が開きにくく、長持ちします。血管チューブを交換することで、繰り返し使用できるため大人数での演習にも対応できます。首2本、前肢左右各1カ

所、後肢左右各1カ所の計6カ所に血管チューブを通して使用します。様々な部位で、様々な角度からトレーニングを行うことが可能です。血管チューブを通す位置や深さなど村尾准教授(動物生命科学科)をはじめ、獣医師の方にアドバイスいただきながら設計し、試作を重ねて再現度を高めました。

デザインも学生からアドバイスをもらい、長く使ってもらえる愛らしいデザインをめざしました。

童学博物館の展示スタンプラリーに加えて、キャンパス内の地球史にかかわる植物、岩石、考古遺跡などの解説板と音声解説(通称「ぶら理大」)が81カ所に完成。

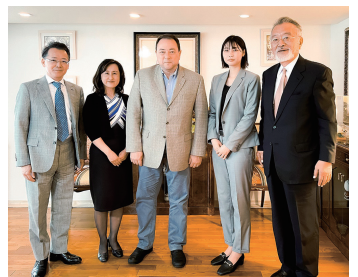
東学長が在日ウクライナ大使館を訪れて義援金

千葉科学大

東祥三・千葉科学大学学長が5月29日、東京都港区の在日ウクライナ大使館を訪問し、コルスンスキー・セルギー駐日ウクライナ特命全権大使に義援金を寄贈し、懇談しました。

大使は今年2月9日、千葉科学大学マリーナキャンパ

QRコードで音声解説を聞きながら地球と生物の歴史が学べます。まさに「キャンパス丸ごと博物館」で、大人から子どもまで楽しんでいただけます。



中央がコルスンスキー大使、右端が東学長

ス看護学部棟2階6201講義室で、ウクライナ情勢について特別講義。その際、卒業生がいる埼玉県の医療用機械器具メーカーからポータブルX線撮影装置が寄贈されました。

懇談の中で大使は、「頂いたポータブルX線撮影装置はキーウの整形外科研究所で腕の治療などに使用する間に折り込んで3万9千世帯に配布しました。このチラシをB2サイズに拡大して、ポスターとして最寄りの阪急御影駅や岡

御影こども園

チラシ4万枚でPR大作戦 阪急駅にポスターも



御影インターナショナルこども園が「イマージョン教育」や、子どもたちの可能性を最大限に開花するよう援助する「モンテッソーリ教育」といった世界標準の教育メソッドをPRするため、A4判の広報チラシ4万枚を制作。7月28日、新

本駅、六甲駅に掲示することになっています。さらにSNSも活用、広報作戦を展開し、園児募集につなげていく考えです。

理大

今治キャンパスと合同でOUS 研究者交流会開催

岡山理科大学のプロジェクト合同研究成果報告会をメイン行事として、岡山・今治両キャンパスの教員約50人が集い、OUS研究者交流会が3月9日~10日、岡山キャンパスで開催され、交流を深めました。最終報告の審査では、工学部応用化学科の折田明浩教授の「有機色素駆動型光電変換を志向した分子設計化学」が最優秀賞、獣医学部獣医学科の伊豆弥生准教授の「臓器ネットワーク制御による筋脆弱症発症メカニズムの解明」が学長特別賞を受賞しました。



▶最優秀賞を受賞した折田教授(右)と学長特別賞を受賞した伊豆准教授(左)。中央は平野学長

最優秀賞は折田教授、学長特別賞は伊豆准教授が受賞

並木・始良学習支援センター



真剣な表情でボールを投じる生徒たち

並木学院高等学校始良学習支援センターでは、生徒間の交流の場として毎学

レクリエーションでコミュニケーション

学校生活や私生活にも好影響

期、全校生徒でレクリエーションを行っています。今回(3月)は鹿児島県霧島市にあるボウリング場で楽しく2ゲームを競い合いました。前回優勝した津田和さん(国体の鹿児島県代表)が、前回以上のハンディキャップをもつとせず、2位に大差を付けて優勝しました。

本センターに在学している生徒には孤立したり、支援が必要だったりする生徒がいます。しかし、このように普段とは違った環境で、楽しくレクリエーションを行うことで、今まで関わりがなかった者同士がコミュニケーションを取り、その後の学校生活や私生活で良好な関係を築いています。生徒たちもレクリエーションをとっても楽しみにしています。

土砂災害避難訓練に学生が参加

千葉科学大

で、各国語版防災パネルの展示を行いました。

千葉科学大学の学生サークル活動の一つ「DRR」(Disaster Response Research: 災害時に情報収集しすぐに返答する)、千葉科学大学附属高等学校生の合同チーム、危機管理学科・木村栄宏ゼミの学生たちが、7月2日に行われた千葉県・銚子市共催の土砂災害避難訓練に参加しました。

DRRサークルは銚子市立春日小学校会場で体験プログラムの運営、木村ゼミの学生は保健福祉センター会場



訓練に参加した学生・生徒たち

学生が企画・取材・編集した広報誌「Re:Daisuki」を創刊!

岡山理科大学の学生広報スタッフが、自分たちで企画し取材から編集まで手掛けた広報誌「Re:Daisuki」(り・だいすき)を7月24日に創刊しました。

学生目線で学内・学外に理大の魅力をPRしていくこと、広報誌リーダーの竹中真美香さん(生物化学科3年)らが中心になり、企画を練り上げて3カ月がかりで制作。A5判14ページで、5000部発行。タイトルは「理大大好き」「再び大好き」という理大

岡山理科大



頑張りま

ファイギュアスケートの三宅選手が岡山県のオリンピック強化指定選手に

岡山県から多くのオリンピック・パラリンピック選手を輩出することを目指し、有望なアスリートに対して多角的な支援を行う「オリンピック・パラリンピアン育成事業」で、経営学部3年のファイギュアスケート選手、三宅咲綺さんII写真IIが2023年度の強化指定選手に選ばれ、7月31日に県庁で指定選手証の交付式が行われました。

三宅さんは、「いつも応援してくださる方、支えてくださっている方に感謝の気持ちを忘れず、一つ一つの試合を大切に、毎回ベストが尽くせるように頑張ります」と話しています。

への熱い思いを表現しています。記念すべき創刊号の表紙は経営学部3年のファイギュアスケーター、三宅咲綺さんが飾りました。学生・教員を紹介する「輝く」シリーズから、研究室紹介、オススメ履修科目やコンビニ商品売れ筋ランキングというお役立ち情報など盛りだくさんの内容。男女別にアンケートして理大生気質を探って理大ファッション、学生の夢も紹介しています。



山脇山月堂とのコラボで「きびだんご」の理大パッケージ誕生

きびだんごの老舗「株式会社山脇山月堂」(岡山市)と岡山理科大学のコラボで、「きびだんご」の理大パッケージが誕生しました。岡山を盛り上げていこうという地域貢献活動の一環です。6月1日から、理大岡山キャンパス内のコンビニのほか、山脇山月堂のオンラインショップで販売しています。

デザインは理大を代表する好環境、水、恐竜学博物館、ワインプロジェクト、「いきまのQOL」キャンペーンを案化した。「ワクワク、育成大学。」というキャッチフレーズも盛り込みました。値段はきなこ、白桃味など4種が1,200円(税込)、2種が600円(税込)。



高校生が好適環境水でアクアポニックスに挑戦

岡山理科大学

オリジナルストーリー3部作で「ワクワク感」をPR

東岡山工業高等学校(東工)の生徒が好適環境水を使って、付加価値の高い水産養殖と植物の栽培を同時に行う、循環型農法「アクアポニックス」に挑戦します。7月31日、岡山理科大学が育てたメバル約50匹が東工



理大で育ったメバルを水槽に移す生徒



オリジナルストーリー第1弾



オリジナルストーリー第2弾

岡山理科大学が育てたメバル約50匹が東工
 「東工×養殖プロジェクト」と名付けられ、3年の課題研究を中心に5科(機械科、電気科、電子機械科、工業化学科、設備システム科)が連携して研究に取り
岡山理科大学が装置・ノウハウなど全面的に支援

の実習室の大型水槽(25トン)に収容され、養殖がスタート。今秋には水槽併設の水耕栽培槽で、メバルが排出した窒素などを養分としてレタス栽培が始まりま
 す。理大以外で好適環境水による養殖とアクアポニックスが行われるのは初めてで、高校生たちの挑戦の成果が注目されます。

岡山理科大学は昨秋から、「ワクワク感」をキーワードにしたオリジナルストーリー(イメージ動画&音楽を制作し、テレビCMやYouTube、SNSで広告展開をしています)。
 第1弾は恐竜学博物館を見学した子どもにワクワク感が芽生え、やがて成長とともにその興味・関心が実現されるという様子を描き、YouTubeの再生回数は2023年6月現在で58万回を超えました。
 第2弾は、幼いころにおじいさんが時計を分解・修理しているのを見て、ものづくりに興味を持った主人公が、成長して理大に入り、

ロボットを製作してロボコンに参加するなど、ワクワクの学生生活を送っている様子を描いています。こちらもYouTubeの再生回数は第1弾をしのぐ76万回を超えています。
 今秋公開予定の第3弾は、幼いころの愛犬との触れ合いから獣医をめざし、獣医学部に入学。国家試験に向けた勉強を重ねる中で、悩みながらも母親と愛犬に励まされて奮起し、懸命に大学生活を送っている姿を描きます。
 オリジナルストーリーには、子どもの頃から、大学生活、そして社会につながるっていく「ワクワク」を伝える

組んでいます。大型水槽は理大が貸与したもので、養殖のノウハウも提供。
 水槽の隣にはドラム式水耕栽培槽(直径80センチ、幅120センチ)を設置。ドラムの内側には192個の植栽スポットがあり、ここにレタスの苗を植え込んで栽培します。
 研究概要の発表で、中心メンバーの工業化学科3年、谷口瑞樹さんは「アクアポニックスで商品化できるようなものを作り、東工ブランドで販売できたら」と目標を語りました。

ことで、理大への信頼感と安心感を育んでもらいたいとの願いを込めています。

ネット発!みんなで作る日本最大級の文化祭「ニコニコ超会議2023」が4月29、30両日、千葉県の幕張メッセで開かれ、倉敷芸術科学大学も出展しました。
 この超会議は、「ニコニコのすべて(だいたい)」を地上に再現する」をコンセプトに、ユーザーが主体となってネットとリアルで開催するニコニコ最大のイベントとされています。今年には約12万人が来場し、大変な賑わいを見せていました。

吉備高原学園高等学校では、国立吉備少年自然の家で4月18日、「カレーづくり」を実施しました。本校は全寮制のため、学校はもちらん寮においても、様々な場面や行事などで協力しながら生活する必要があるですが、新型コロナウイルスの影響で多くの行事が中止や規模を縮小しての実施となっていました。



400人以上の来場者が集まった芸科大のブース

本学ブースは「人間やめてみませんか」転生して犬になったので芸科大で冒険するVRゲーム」という企画で出展。
 来場者には芸術学部・中川研究室で制作したVRゲームで犬になって、大学内を冒険していただきまし
 た。また体験する機会の少ないVRゲームで、しかも教員と学生が作ったゲームということも多くの方に楽しんでいただけたと思います。「どうゲームを作ったのか」という技術的な質問をしてこられる方もいて、クリエーターのつながりもできたようです。
 呼び込みのワンちゃんのおかげか、ゲームに参加し
 ないけれどブースに来てくれる方々もいて、400人以上の来場者がありました。

吉備高原学園高等学校では、国立吉備少年自然の家で4月18日、「カレーづくり」を実施しました。本校は全寮制のため、学校はもちらん寮においても、様々な場面や行事などで協力しながら生活する必要があるですが、新型コロナウイルスの影響で多くの行事が中止や規模を縮小しての実施となっていました。

今年度の行事をはじめとして、七夕会やクリスマス会など、寮ならではの行事を通して今まで以上に成長してくれることを願っています。



オリジナルストーリー特設サイト



出来上がったカレーをおいしそうに食べる生徒たち

ユニケーション力で、手際も良くおいしいカレーが続々と出来上がっていました。

